

令和 5 年 9 月 27 日

食関連分野オープンイノベーション・チャレンジピッチを開催！

経済産業省関東経済産業局（以下、「当局」という。）、農林水産省及び中小企業基盤整備機構関東本部（以下、「中小機構」という。）は、**食関連分野におけるオープンイノベーション**を促進するため、昨年に続き第 3 回目の「**食関連分野オープンイノベーション・チャレンジピッチ**」を令和 5 年 10 月 27 日（金）に開催します。

オープンイノベーションを通じて、従来のネットワークや地域企業内のリソースに限定されない企業間連携を創出することにより、地域の中堅・中小企業（以下、「地域企業」という。）及び、ベンチャー・スタートアップ等の稼ぐ力の向上を目指します。

1. 背景・経緯

食関連分野産業においては、SDGsやサーキュラーエコノミーの広がりによって、サプライチェーンの在り方や地球環境に配慮した製品作りなどにおけるイノベーションの必要性が高まっています。

このため、「オープンイノベーション・マッチングスクエア（以下、「OIMS」という。）」を運営する当局及び中小機構は、食関連分野の活性化に取り組む農林水産省と連携し、食関連分野のパートナーを探索したい大手企業等と、優れた技術・サービスを有する地域企業・スタートアップが共創して取り組む新たな事業創造を後押しします。（※OIMS及び各機関の取組については、3.関連情報参照）

2. 開催概要

- 日 時：令和 5 年 10 月 27 日（金）14:00～16:30
- 開催方法：オンライン（Microsoft Teams）
- 主 催：経済産業省関東経済産業局、農林水産省
- 開催協力：独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部
- 対 象：自治体、支援機関、地域金融機関、大学、研究機関、VC、地域企業、ベンチャー・スタートアップ等
- 参加申込方法

以下 URL（または QR コード）よりお申し込みください。

※申込期限 令和 5 年 10 月 20 日（金）17 時 00 分

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kanto01/food_oip_entry_r5

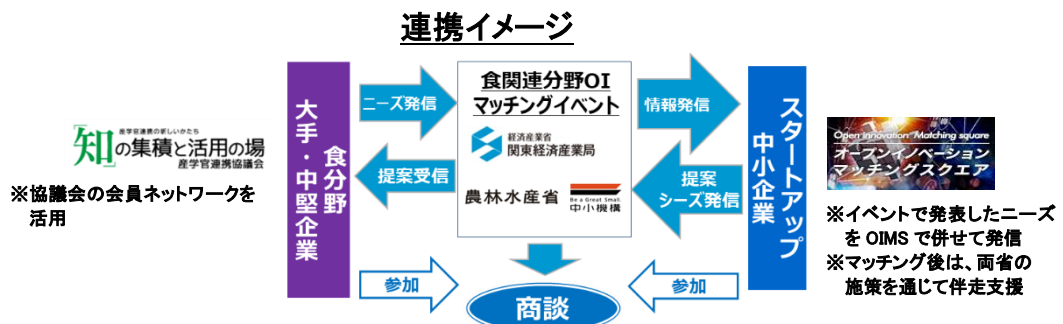


○ プログラム：

- ①開会挨拶（農林水産省）
- ②趣旨説明（経済産業省関東経済産業局）
- ③大手企業等のニーズ発信（5 社）

登壇企業	発表予定テーマ・発表者
日本ハム株式会社  Nipponham Group たんばく質を、もっと自由に。	「食品製造から発生する副産物等の有効利用について ～食品以外への利用～」 新規事業推進部 マネージャー 望月 太郎 氏
有限会社ワタミファーム  watami Farm	「有機農業拡大のための効率化アップときく芋加工技術」 代表取締役社長 井関 俊幸 氏
フジッコ株式会社  フジッコ	「大豆由来機能性素材の活用による、社会課題の共創解決」 イノベーションセンター 上席執行役員・センター長 丸山 健太郎 氏
東洋製罐グループホールディングス株式会社  TOYO SEIKAN GROUP	「「くらしのプラットフォーム（情報容器プラットフォーム）」へ向けた具体的な取り組み」 新規事業推進室 遺伝子検査Gエキスパート 国正 英彦 氏
雪印メグミルク株式会社  雪印メグミルク	「共に考える、乳・乳製品、酪農の未来 ～無脂乳固形分（脱脂粉乳など）の利用拡大・新たな価値創造～」 常務執行役員 森 隆志 氏

④国の施策紹介（経済産業省関東経済産業局、農林水産省）



3. 関連情報

◆ 関東経済産業局及び中小企業基盤整備機構

「オープンイノベーション・マッチングスクエア(OIMS)」について(ジェグテックサイトへ)
当局及び中小機構では、オープンイノベーションを通じた新たな価値創出のため、
共同開発・協業ニーズを発信する共創サイトOIMSを運営しています。これまで596
件のニーズ発信に対して6,674件の提案があり、1,101件の商談を実施することで、
地域企業の新事業創出を支援してきました(各件数は、令和5年3月末時点での数
字)。

<https://jgoodtech2.smrj.go.jp/lp/oi-matchingsquare>



◆ 中小企業基盤整備機構

マッチングサイト「ジェグテック」について(中小機構サイトへ)

<https://jgoodtech.smrj.go.jp/>



◆ 関東経済産業局

「オープンイノベーション・チャレンジピッチ」全般について

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/open_innovation/challenge_pitch2022.html



◆ 農林水産省

『「知」の集積と活用の中場』について(農林水産省管理サイトへ)

農林水産省は、農林水産・食品分野に異分野の知識や技術を導入し、革新的な技術シーズを生み出すとともに、それらの技術シーズを事業化・商品化へと導き、国産農林水産物のバリューチェーンの形成に結びつける新たな産学連携研究の仕組み『「知」の集積と活用の中場』を構築しています。

<https://www.knowledge.maff.go.jp/>



(本発表資料のお問合せ先)

関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長 幸物 正晃

担当者: 鈴木、岡安、江原

電話: 048-600-0237(直通)

E-MAIL: bz1-kanto-oi@meti.go.jp